

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月12日

事業所名 児童デイサービスまはろ宮野 滝志真志

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	5	3		新事業所へ移転してからは各々の部屋が分かれ集中して訓練や指導に取り組める様になったと思うが、訓練室が少し狭いと感じます。
	2	職員の配置数は適切である	8	2	3	配置基準は適正化と思いますが、個別対応が必要な児童が利用の際は少しバタつく事がある	配置基準には適した職員の配置を行っておりますが、個別対応の児童が多く利用する日は確かにバタつく事もあります。今後は余裕を持って療育に取り組める様に努めて参ります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	6	1		現時点では、車いす等を利用する児童がいない為、必要性は感じないが、必要に応じて対応して行ければと思います
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	4	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	3	0		事業所内会議にて保護者様から頂いた意見を分析し、業務改善に努めて参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	1	1		新入社員への情報提供が上手く行えていなかった点があるかと思えます。反省し周知に努めます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	5	0		管理者や主任は第三者による評価やアドバイスを元に業務にあっているが、職員についてはその様な機会が少ない為、会議等で情報共有に努めて行く必要がある
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	6	1		コロナ禍の影響もあり研修に参加する機会が少なかつた為、次年度は積極的に参加出来る環境を整えて行きたい	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13			モニタリング会議で自宅や学校での様子を聞き取りしてニーズに合った支援計画書を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	1	0	会議の中で話合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	0	カレンダー(活動)会議を設定し職員全員で活動プログラムを考案しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	2	0	デイリープログラムを活用している為、細かく設定されていると思う	長期休暇の際は普段体験できない活動を多く組み込み、子ども達に色々な経験を積んで欲しいとの職員の願が多く工夫して設定しております
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	0	月間の個別支援目標を立てて、それに基づき実績表を記入している。	個別支援経計画書を基本に起きながら、児童1人1人の月間目標を設定し、子ども達が出来た事を増やしていける様に支援に取り組んでいます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	1	0	朝のミーティングで必ずその日の送迎や課題について確認を行っている	デイリープログラムを作成し、その日の流れを全職員が把握できる様に工夫しています。今後も継続して行きます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	0	送迎終了後に必ずミーティングを行いその日の振り返りや反省点を話合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	0	利用児童の1日の様子が分かるように送迎後に実績表を記入している為、詳細を記入出来る	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	1	0	モニタリングの時期を待たずに、児童の現状に合わせて計画書の変更を行っている	お子様が困っている事や保護者様のニーズに合わせて、モニタリングの時期を待たずに個別支援計画書を見直し支援内容を変更して療育に努めて参ります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	11	2	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	12	1	0	個別支援計画書を作 成している児発管が 参加している為ふさ わしいと思う		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	13	0	0	学校への送迎時を利用 し情報の共有を行って いる	学校や他の関係機関との連携を今後も継続 して参ります	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			3	10	現在、医療的ケアが必 要な児童の利用は無 し。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	11	2	0	0	児発管が代表で情報 共有に努めて職員へ 周知しています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	9	4			就労移行や生活訓練 等、移行先の管理者へ しっかりと引継ぎ卒業後 もスムーズに福祉サー ビスを利用できる様にサ ポートしています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	6	1		専門機関での研修は 少ないと思います。	職員の知識向上の為、専門機関での研修や連携を密にして 行ける様に改善して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	8	4	1		以前は児童館での活 動を取り入れていた がコロナ禍で自粛中	感染対策に重点を置いていた為、交流の機会が少なくなりました。コロナ感染対策を行いながら、地域のお子様との交流を 増やして参りたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	6	6	2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	10	2	1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4	8	1			ペアレント・トレーニングの支援にも取り組めるように職 員の研修なども盛り込み、支援内容の向上に努めて参 ります。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	12	1	0	0	利用契約の際に管理 者が行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	12	1	0	0	送迎の時間を利用して保護 者様との会話の時間を設定 し、悩みなどをキャッチする 様に努めています。	送迎時の申し送りの際にお伺いした保護者様からの
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	10	1		コロナ禍の為、保護者 会等の交流の場を設定 する事が出来なかった。	保護者様同士の情報共有や、子育ての悩みを相談し 合える交流の機会を設定し、保護者同士の連携が行 える様に改善して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	13	0	0			今後も速やかに対応出来るように努めて参ります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	5	1		事前に翌月の活動予定 表を配布するなど、活動 の内容が明確に伝わる 様にしています。	事業所のホームページやブログにも活動内容の予定 表を掲載し、どのような活動で支援を行っているか、発 信を継続して参ります
	35	個人情報に十分注意している	13	0	0		個人情報が記載された書類 は全て鍵付きの保管庫に保 管し取り扱いに細心の注意 を行っている	児童の個別ファイルや実績表の保管は管理者が責任を 持って行い、使用時・閲覧時のみ解錠する等の管理を徹底し ています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	12	1	0			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	7	4	2			自治会に加入し、地域の清掃活動への参加は行っています が、コロナ禍であった為、参加を控える措置を行ってしま した。今後は積極的に交流を広げ開かれた事業所を目指し ます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	6	1	感染症に対するマニュアルがない為、対応が不安	事業所内での決定的なマニュアルが作成されていない為、不安を感じる職員もいるか思います。マニュアルについて運営本部と相談し解決して参ります
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	3	2	年度内に2回の消防訓練を行っていますがその他の訓練は少ない	消防訓練以外にも、緊急時の避難場所への避難訓練を定期的に行っていましたが、今年度はコロナ禍での外出を控えていた為、避難場所の確認が疎かになってしまいました。次年度は感染状況を見ながら実施して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	3	1	定期的に職員会議の中で虐待防止について話合っています	運営会社で虐待防止委員会が設置されている為、その委員会で得た内容を事業所の職員にも共有しております
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12	1	0	他害行為がある児童については事前に保護者と会議を持ち了承を得ている。	他害行為や児童本人の生命に関わる事態の場合は最小限の身体拘束を行っております。その際は必ず保護者・相談員・児発管にて事前の会議を行い保護者の承諾書を得てからの実施になり、身体拘束を行った際は記録に残して保管しております。各自治体にも書類を提出しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	1	現在、食物アレルギーを持った児童は不在	利用契約の際に、アレルギーの有無を確認し必要に応じては診断書の提出等のお願いしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	4	1		パート職にも把握しやすい様に早急に事例を作成し事業所全職員で共有して参ります